

②進捗状況調査シート(浦安市生涯スポーツ推進計画) R4年度分

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和4年度実績値	進捗状況	現状分析	令和5年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
1	公園などの遊具の活用	市民スポーツ課	1-2-① 3-2-②	市民が日ごろから体を動かす習慣を見つけれられるよう、身近な公園に設置してある健康遊具を市民に周知や活用を図る。	ウォーキングマップを作成し、市民の健康づくりの意識を高めるため、公園遊具の所在地や活用を周知する。	「うらやすウォーキングマップ」の認知度(%) (市民意識調査)	—	20	30	—	—	現在、配布は行っておらず、今後も配布を再開する予定がないため、廃止としている。	廃止
1-2	幼児期体力向上支援事業 【令和4年度から開始】	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-① 3-1-①	運動公園施設と指定管理者が持つ運動指導のノウハウを活用し、幼児に楽しく運動をするプログラムを提供することで、幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくることを目的とする。また、併せて施設利用の向上も図る。	市が所有するマイクロバスを活用し、市内認可保育所等に通う園児を対象に各園と運動公園までの送迎を行う。	プログラム参加人数(人)	二	7,380	9,056	3,964	B	令和4年度は8月から事業を開始し、3月までの8か月の間、282回の送迎を行った結果、延べ3,964人の園児がプログラムへ参加することができた。これにより、幼児の体力向上やスポーツ施設利用者数の向上を図ることができた。 今後については、指定管理者と連携を図り、実施プログラムの魅力を高めていくことで、登録園や実施回数を増やし、参加園児数のさらなる増加とより多くの園児数の体力向上及び施設利用の向上を目指す。	継続
2	健康づくり事業	公民館	1-2-①	市民の健康づくりのために、地域の身近な場所で運動ができるよう、事業の開催や場の提供を行う。	主な事業として高齢者を対象にした「おたっしや体操」、幼児から高齢者までを対象にした「体育館・運動室の一般開放」、小学生から対象にした「クライミング事業」を常時実施している。	各公民館の運動事業延参加者数(人)	20,434	23,000	25,300	10,939	C	市民の健康づくりの事業については、全館共通事業として、おたっしや体操を実施した。体育館・運動室設備がある中央公民館、当代島公民館、日の出公民館、高洲公民館の4館では、利用者の健康増進の一助として、一般開放を実施した。 令和4年度は、概ね計画どおり実施することができ、10,939人(前年比△2.9%)の参加者数であった。目標値に届かなかった原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、実施日数や実施規模を縮小したためである。令和5年度については、障がいのある方への事業として、「チャレンジスポーツ」を実施する。	拡大
3	トップスポーツチームの講演会やスポーツ教室事業	市民スポーツ課	2-1-④ 2-2-①	市内を拠点とするトップスポーツチームと連携を図り、講演会やスポーツ教室等の実施により市民のスポーツへの関心を高める。	市内イベントでの市民とのふれあいやスポーツ関係団体への講演会、さらには、小中学校を対象としたスポーツ教室を実施する。	小・中学校でのスポーツ教室の実施校(校)	10	15	20以上	23	A	ブリオベッカ浦安・バルドラール浦安・浦安D-Rocksの3チームが小中学校23校を訪問し、各種スポーツ教室を実施した。その他、本市スポーツイベントの浦安スポーツフェア運営などにおいても協力をいただいた。 今後も小中学校でスポーツ教室を実施できるよう、各チームと連携を図っていく。	継続
5	少年スポーツ団体活動支援事業	市民スポーツ課	1-3-① 2-2-② 4-1-② 4-2-①	多くの子どもがスポーツ競技に取り組めるよう、少年スポーツ団体の活動を支援する。	少年野球、サッカー四種、ジュニアゴルフ、ジュニアテニス、リトルシニアの5団体の活動を支援する。	各団体会員数の合計(人)	2,200	2,400	2,500	1,943	C	少年スポーツ団体の育成・競技力向上及び青少年のスポーツ振興を図るため、活動費補助金を交付し、各団体は各種大会や強化練習、指導者講習会などの自主事業を実施することができた。 少子化などの理由により各団体会員数は減少傾向となっているが、今後も補助金交付により支援を行い、各団体の活動の充実を図る。	継続
6	少年親善スポーツ大会	青少年課	2-2-②	浦安市青少年相談員連絡協議会が主体となり、スポーツを媒体として、児童相互の交流を図るとともに、活動を通じて豊かな心を育み、青少年の健全育成を図る。	スポーツを通じて児童交流と体力づくりを目的とし、令和元年度まではドッジボール大会を実施していた。令和2年度から、モルックという競技に変更した。	参加者数(人)	292	300	350	364	A	老若男女問わず楽しむことができる「モルック」を競技として取り入れたことで、多くの方が参加できるイベントとなっている。 今後においても、市内の児童、生徒がスポーツを通じて家族の絆や友情を深めるとともに、心と体を健全に育む事業として継続していく。	継続
9	運動公園の再整備	市民スポーツ課	3-1-②	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	計画に基づき整備を行う。	調査・検討	整備	計画見直し	調査・検討	B	令和4年度までに運動公園テニスコート日除け設置工事、屋内水泳ろ過装置修繕工事、総合公園排熱回収熱湯ポンプ・分解整備修繕、総合体育館汚水・湧水ポンプ交換修繕、屋内水泳プールAHU-5修繕、陸上競技場不点灯照明器具交換修繕、総合体育館カフェテリア監視カメラ設置工事、運動公園野球場周り等整地工事、軟式野球場A面側外周フェンス修繕、運動公園壁打ちテニスコート修繕、運動公園スケートボード場日除け設置、総合体育館貯水槽No.2温水二方弁修繕を行い、よりスポーツを楽しめる環境を整備した。引き続き市民ニーズを捉え運動公園の再整備について検討していく。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和4年度実績値	進捗状況	現状分析	令和5年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
10	スポーツ施設のバリアフリー化事業	市民スポーツ課	3-1-②	市内の誰もがスポーツ施設において、スポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の改修等を行う。	手すり設置、通路の勾配改修、避難出口設置、アスファルト舗装整備等を実施する。	運動公園内複数箇所	検討	整備	—	検討	B	令和4年度にバリアフリー化工事は行っていないが、障がいのある方などの施設利用状況を十分に注視し、市民ニーズに応じて必要な整備を検討していく。	継続
11	スポーツ施設の維持補修事業	市民スポーツ課	3-1-②	安全で快適に利用出来るスポーツ施設の提供と、財政の健全化に向けた効率的・効果的な改修、維持、管理等により、スポーツ施設の長寿命化を図る。	スポーツ施設の修繕や改修を行う。	スポーツ施設の長寿命化を図る。	—	—	—	計画策定	B	本市の主要施設である中央武道館は建設後30年以上経過しており、運動公園総合体育館と屋内水泳プールについても、今後の10年間で建設後30年を迎える。このような中、本市のスポーツ施設について、より良いスポーツ環境の確保とともに、老朽化した施設の効率的、効果的な改修による中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を目指し、21施設(29棟)を対象に浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定した。今後は、当該計画を基に効率的、効果的な修繕や改修を検討していく。	継続
12	東京ベイ浦安シティマラソン	市民スポーツ課	1-1-① 4-1-① 4-1-②	生涯スポーツ健康都市の宣言趣旨に基づき、スポーツを通して市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに明るく健康であることを目指して実施する。また、一人でも多くの市民がランナーを支え、市民が盛り上げる大会を実現し、スポーツ振興に繋げていく。	例年、2月の第一週の日曜日に開催。 種目：3km(一般、中学生、小学生5.6年)、10km、ハーフマラソン 定員：3km 1,000人、10km 1,500人、ハーフマラソン 3,500人	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率(%)	88.8%	90%以上	90%以上	87.4%	C	新型コロナウイルス感染症の影響により中止としていたが、感染症対策を講じ3年ぶりに開催をした。参加者を浦安市民限定とし、3kmの部・10kmの部の2種目とするなど、これまでの大会から規模を縮小、当日運営は、浦安市スポーツ協会、浦安市スポーツ推進委員連絡協議会、浦安市立小中学校体育連盟などのスポーツ関係団体と連携し実施した。コロナ禍であったことなどから、当日の参加者数は減少した。参加者からはハーフの部を望む声もありましたが、近隣住民及び事業者の理解も必要なことから、今後も、大会規模の見直しを含め、市民に親しみのある大会になるよう検討していく。	継続
13	浦安スポーツフェア	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-② 4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに明るく健康な生活を送れるよう「体育の日」の時期に合わせて開催する。また、日本における大規模な国際大会の開催を契機に、市民のスポーツへの機運を高めるため実施する。	国際大会競技大会推進事業(例：ボルダリング、VRフェンシング、車いすバスケットボール、自転車競技)、有名人イベント、スポーツ体験・チャレンジコーナー(市内スポーツ団体種目・レクリエーション種目)、ステージ公演イベント、屋内水泳プール・キッズスポーツルーム無料開放	浦安スポーツフェアでの体験者数(人)	12,674	13,000	13,300	11,359人	C	令和4年度から、イベントの効率性や、高い専門性、知見を活かし、より良いイベントにするため、(一社)浦安市スポーツ協会へ委託し開催した。また、当日の運営は、市内各スポーツ団体や浦安市スポーツ推進委員連絡協議会、(公財)うらやす財団と連携し実施した。市民自ら目的に向かってスポーツに親しみ、心身ともに明るく健康で生きがいのある生活を送れるよう、多様なニーズに応じた「する」スポーツの機会を提供することができた。コロナ禍であったことなどから、当日の参加者数は減少したが、今後も、市民に親しみのあるイベントになるよう検討していく。	見直し継続
14	スポーツ施設運営事業(指定管理の活用)	市民スポーツ課	1-1-① 3-1-① 3-2-②	市民のニーズに応じたスポーツ機会を提供するため、スポーツ施設の効率的な運営を図る。	指定管理者制度を活用し、市民のニーズに応じたイベントを開催する。	指定管理施設数(施設)	3	検討	全て	3	B	指定管理者制度を導入している施設は、スポーツ競技の経験者や指導者資格を有する職員を配置し、市民のニーズに応じた専門性の高いイベントを開催した。導入していない施設は引き続き、指定管理制度導入を検討していく。	継続
15	スポーツ協会活動支援事業	市民スポーツ課	1-1-② 1-3-① 4-1-② 4-2-①	市民誰もがそれぞれのニーズあったスポーツに取り組める機会の提供や、健康増進、競技力の向上を図る。	スポーツ協会に対し、補助金交付の他、活動に関する助言等を行い、団体活動の支援を行う。	スポーツ協会の会員数(人)	13,349	13,500	13,600	12,043	C	スポーツ協会及び加盟団体の育成・競技力向上及び市民のスポーツ振興を図るため、活動費補助金を交付し、各種大会や強化練習、指導者講習会などの事業を実施することができた。少子高齢化などの理由により各団体会員数は減少傾向となっているが、今後も補助金交付により支援を行い、スポーツ協会及び加盟体の活動の充実を図る。	継続
16	浦安クリテリウム実施事業	市民スポーツ課	1-1-③	市内外の人に浦安を知ってもらう機会とするとともに、自転車競技の普及を図る。	クリテリウム実行委員会の開催、公式ホームページ作成、実施要項の作成、クリテリウムの運営、参加者周知など	クリテリウムの参加者数(人)	—	500	700	—	B	浦安クリテリウムの開催に向けて、令和4年5月に実行委員会を設置した。また、令和5年3月に第1回実行委員会を開催し、専門家や関係団体から規模等についての意見及び情報収集を行い、実施内容について検討を行った。今後は、第1回実行委員会の意見を踏まえ、開催要項等の検討を行っていくとともに、同様のレースを実施している近隣市町村に、実施や運営についての留意点や予算規模などのヒアリングを行う。	継続
18	スポーツ推進委員連絡協議会支援事業	市民スポーツ課	1-2-③ 2-2-① 2-2-② 4-1-②	スポーツ推進員の活動をととして、市民が身近な場所でスポーツができる機会を提供するとともに、ニュースポーツ種目の普及を図る。	市内を中央地区、新浦地区の2地区に分け、公民館等においてスポーツ推進委員がヘルスバレーボール、インディアカなどのニュースポーツを普及する活動を行う。	スポーツ推進委員の数(人)	29	35	35	28	C	市民が身近な場所でスポーツができる機会を提供するため、当該協議会へ活動費補助金を交付し、公民館で定期的実施する地区活動や地区大会、ウォーキングイベントなどを実施することができた。今後もより充実した事業を行うため、スポーツ推進委員による声かけや推薦の他、スポーツ推進委員数を増やすための新たな手段などを検討していきます。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和4年度実績値	進捗状況	現状分析	令和5年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
19	軽スポーツ大会	市民スポーツ課	1-2-③ 1-3-②	市民誰もが取り組める軽スポーツ(ニュースポーツ)の普及・振興を図り、市民の健康増進及び体力向上を図る。	ドッチビーやミニバレーボールなどの軽スポーツの種目を普及・振興を図る。	軽スポーツ大会の参加者数(人)	50	60	70	46	—	令和4年度はファミリーマラソン競技を実施したが、コロナ禍であったことなどから、参加者数は減少した。当該事業については、スポーツ推進委員連絡協議会主催の地区大会と内容が重複しており、参加者数も減少傾向であることや事業効率化などの観点から令和5年度以降事業を廃止する。	廃止
22	市民大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	市民の競技力向上やスポーツを通じて市民が交流する機会を提供する。	教育委員会主催事業として、浦安市スポーツ協会へ委託し、スポーツ協会加盟団体の運営のもとに市民大会を実施する。 スポーツ協会加盟団体:32団体 レプリカ、賞状の作成	市民大会1回の参加者数(人)	9,223	9,300	9,400	12,555	A	春・秋を中心に各種競技の市民大会を行うことで、市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供した。より多くの市民の方に参加いただけるよう、引き続き団体との連絡調整を行っていく。	見直し継続
23	少年スポーツ大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	子どもの競技力向上やスポーツを通じて交流する機会を提供する。	教育委員会・少年スポーツ団体(少年野球)の共催事業として、少年野球連盟の運営のもとに市民大会を実施する。 少年野球大会レプリカ、賞状の作成	市民大会1回の(1部、3部)合計参加チーム数(チーム)	24	25	26	19	C	少年大会実施については、市教育委員会や少年スポーツ団体との共催事業とし、少年スポーツ団体の運営のもと、春・秋を中心に各種競技の少年体育大会を行うことで、青少年がスポーツを親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供します。少子化などの理由で団体会員数減少により参加チーム数が傾向となっているが、より多くの青少年に参加いただけるよう、引き続き団体との連絡調整を行っていく。	継続
25	県民・関東・全国・国際大会補助事業	市民スポーツ課	1-3-③	スポーツ関係団体(個人含む)で県民大会等に出場する個人又は団体に対し、経費の負担軽減を図るため、交通費等を補助する。	県民大会強化費、県民大会派遣費、全国大会・関東大会出場補助金、国際大会等出場賞賜金(世界大会、アジア大会など)	国際大会出場賞賜金交付件数	4	6	8	15	A	令和4年度は国際大会等に出場する選手など15件の申請があり、その栄光を讃え、さらなる飛躍と期待をこめて賞賜金を交付した。今後も引き続きトップアスリートを目指す選手を補助することで、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図っていく。	継続
26	オリンピック・パラリンピック等選手育成事業	市民スポーツ課	1-3-③	オリンピック等を目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図る。	選定委員会から選出された育成選手について、旅費、用具、合宿費、会場使用料、指導者の招聘、運搬費、その他のうち、10万円を限度として交付する。	オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金交付人数(人)	12	13	14	4	C	市内の優秀な選手4名に補助金を交付した。コロナ禍であったことなどから、対象となる大会が減少したことで対象者数が減ったが、今後もオリンピック・パラリンピックを目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図ることを目的とし、補助金を交付していく。	継続
27	トップスポーツチームの観戦	市民スポーツ課	2-1-①	本市を活動拠点とするトップスポーツチームと千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグが開催されるなど、身近にトップレベルのスポーツに触れられる機会が充実していることから、これらのトップスポーツチームと連携・協力し、活用していくことで、より多くの市民のスポーツへの関心を喚起していく。	浦安D-Rocks(ラグビー)の応援バスツアー、バルドラール浦安(フットサル)やプリオベッカ浦安(サッカー)のホームゲームの観戦、千葉ロッテマリーンズ(野球)のイースタンリーグが年1回開催。	本市を拠点とするトップスポーツチームのホームゲームの観客動員数(人)	—	20,000	22,000	17,570	B	バルドラール浦安、プリオベッカ浦安のホームゲームの開催、浦安D-Rocksの応援バスツアーや千葉ロッテマリーンズイースタンリーグの開催など「みるスポーツ」の機会を提供した。引き続き市民のスポーツへの関心を高めていく。	継続
28	フットサル全国リーグ支援事業	市民スポーツ課	2-1-① 2-2-①	浦安市総合体育館をホームアリーナとし、全国のフットサル界トップリーグとなる「フリーグ」に継続して参戦している。過去11年間で、連続して年間1万人を超える観客を動員しており、スポーツでより一層の地域活性化を図るためホームゲームにおける「応援環境」を整備する。	映像・音響オペレーター並びに進行ディレクターを配置し、よりクオリティの高い興行を提供し、会場の雰囲気・応援態勢を整備することで地元チームのホームゲームを盛り上げる「地域密着」の演出を図る。	ホームゲームでの観客動員数(人)	10,000	11,000	11,500	11,657	B	バルドラール浦安のホームゲームの開催を通じて「みるスポーツ」の機会を提供した。引き続き市民のスポーツへの関心を高めていく。	継続
29	スポーツ関係団体への情報発信	市民スポーツ課	2-1-②	スポーツ協会等、スポーツ関係団体と連携、協力した情報発信を図り、本市のスポーツ推進を図る。	市からスポーツ関係団体等へ国や県の動向を発信するとともに、市民大会や各スポーツ団体主催のスポーツ事業を広報うらやすやホームページなどに掲載し、市民への周知を図る。	—	—	—	—	—	B	(一社)浦安市スポーツ協会や市内スポーツ団体と連携し、各団体の事業について、市公式ホームページや広報誌などで周知等を行った。引き続き、関係団体と調整し、情報発信を行っていく	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和4年度実績値	進捗状況	現状分析	令和5年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
30	公共施設予約管理システム事業	市民スポーツ課	2-1-③ 3-1-①	市民がいつでも、どこでもスポーツ施設の予約ができるよう環境を整備する。	インターネットを通じて市民がスポーツ施設を予約することができる公共施設予約システムを運営する。	システム更新の実施	—	システム更新	—	—	B	システム更新に向けて、関係各課と協議を重ね、より市民が使いやすいシステムを構築できるよう検討を行っていく。	継続
31	生涯学習情報提供システム運営事業	生涯学習課	2-1-③	市民がいつでもどこでもスポーツに取り組めるよう情報を入手できる環境を整備する。	スポーツイベント等に関する情報を発信する。	生涯学習情報提供システムへのアクセス数(件)	7,994	15,000	18,000	20,968	A	生涯学習情報提供システムへのアクセス数は、平成30年度以降増加傾向にあり、令和4年度は、令和6年度までの目標値を上回った。令和3年度よりもアクセス数が増加した要因は、公民館情報紙「ルネサンス」において、公民館講座の詳細な内容確認を「生涯学習情報提供システム」にアクセスするよう促したことが主な要因であると考えている。アクセス数を増やすことで、スポーツ関連の情報収集の促進を図ることができることから、今後についても、引き続き、スポーツ施設の情報や講座・イベント等の情報などを効果的に発信していく。	継続
35	学校体育館開放事業	市民スポーツ課	3-2-①	市民のスポーツする場の拡充を図るため、小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放し、スポーツ機会を提供する。	小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放する。利用団体の自主性を高めるため、学校ごとに運営協議会を設立し、学校清掃等に協力してもらい、利用団体としての自主性を高めている。	利用者数(人)	270,300	270,400	270,500	264,004	C	コロナ禍であったことなどから利用人数が減少している。今後は新型コロナウイルスの感染症の分類が2類から5類になることから、学校体育施設開放事業の目的である地域住民のスポーツ普及及び子どもの安全な遊び場を確保するため、新規団体の加入を検討していく。	継続
38	みんなのスポーツの集い	市民スポーツ課	4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、スポーツを通して市民が交流できる機会を提供する。	スポーツ推進委員連絡協議会が主体となって、市民が気軽にスポーツに親しめるイベントを運営する。	みんなのスポーツの集い参加者数(人)	1,000	1,200	1,400	—	—	みんなのスポーツの集いはボッチャなど障がい者も一緒に楽しめるインクルーシブスポーツをメインに実施していたが、スポーツフェアの規模を大きくし、インクルーシブスポーツも体験できるようになったため、事業を令和2年度に統合した。	廃止
41	総合型地域スポーツクラブ支援事業	市民スポーツ課	4-1-② 4-2-①	総合型地域スポーツクラブ設立を目指す地域支援の促進を図る。	各地域で活動しているスポーツ用品等を支援する。	総合型地域スポーツクラブ数(クラブ)	6	7	8	6	B	市内6つのクラブにより構成されるウラスポユナイテッドが、活動に必要とする備品等の購入を通じて、各クラブの活性化を図り、多くの市民への貢献ができるよう、引き続き支援を行う。	継続
49	スポーツ交流事業	市民スポーツ課	4-2-②	本市とオーランド市の両市民の交流、親善及び国際理解の推進を図る。また、災害協定を締結している下妻市と新発田市と、スポーツを通して両市民の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツ振興を図る。	オーランド市にマラソン選手の派遣：4名、下妻市、新発田市は、隔年で会場を変更し、男女小学生を対象にスポーツ交流を図る。(サッカー、タグラグビー、剣道、バスケットボール)	スポーツ交流事業種目数(種目)	4	6	8	0	C	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての事業が中止となった。今後も交流先と調整しながら、スポーツを通じた交流事業を行えるよう検討していく。	継続